

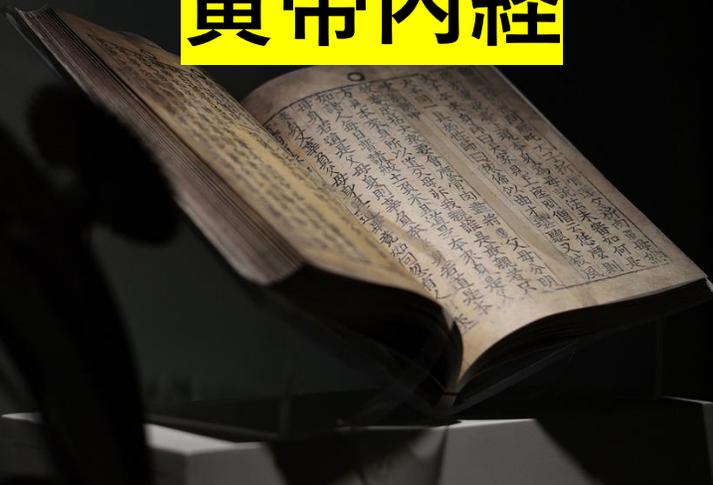
西部
気候：山岳地で
変動が激しい
食傾向：美食
脂肪太りから内臓の
病気過多症状から
⇒せんじ薬が発達

中央部
気候：多湿平原
食傾向：雑食
運動不足、四肢虚弱、
冷え、のぼせ
⇒運動療法、
按摩が発達

南部
気候：高温多湿
食傾向：酸味、内臓
血行障害、しびれ
⇒浅い鍼療法が発達

北部
気候：寒冷地
食傾向：乳製品
腹の張る症状から
⇒灸療法が発達

東部
気候：沿岸沿い
食傾向：魚と塩
できもの、腫物症状
⇒外科療法が発達



黄帝内経

『素問』
(そもん)

人体の生理、病理など
基礎医学のまとめ

『靈枢』
(れいすう)

経絡・鍼灸療法の
まとめ



傷寒雑病論

『傷寒論』
(しょうかんろん)

急性病の
まとめ

『金匱要略』
(きんきようりやく)

慢性病の
まとめ



新農本草経

薬草についての素朴な
経験的知識のまとめ